

最上川の樹木を伐採してくださる方を募集しています

洪水時の川の流れや河川巡視の妨げとなっている樹木の伐採を行い、伐採木の有効活用をしてもらうため伐採希望者を募集しています。募集箇所については大蔵村清水地区・戸沢村蔵岡地区の2箇所となっております。
申し込みについては鳥越出張所が窓口となっておりますので本紙裏面の電話番号にお問い合わせ下さい。

- 戸沢村蔵岡地区
- 全体面積 約 10,000 m²
- 区画数 20 区画程度



- 大蔵村清水地区
- 全体面積 約 8,000 m²
- 区画数 16 区画程度



最上川の伐採木を無償提供します

戸沢村古口真柄地区にやなぎ等の幹や枝を、径5~20cm、長さ2m程度に切り揃えています。

提供を受けるには鳥越出張所にて申し込みをしていただきます。詳しくは鳥越出張所にお問い合わせ下さい。



モモカミゴミバスターズ大作戦実施

6/3、戸沢村小外川で毎年恒例のモモカミゴミバスターズ大作戦が実施されました。

今年は節目となる20年目の年となり、3小学校からの参加児童44名を含む約240名に参加していただきました。今年度は10+ダンフ1台半ほどとなり、例年より大幅に減りました。

皆様が河川美化運動に積極的に動いていただいたおかげです。今後も河川にゴミが浮かばないようにご協力よろしくお願いします。



鳥越出張所水防倉庫紹介

鳥越出張所管内には洪水時や水質事故等に迅速に対応できるように、最上川堤防上に水防倉庫を設置しており、土のうやゴムボートなどを収納しております。

水防倉庫は有事に備え常時使用できる状態にしておかねばならないので、付近に車などを置かないようご協力よろしくお願いします。

備蓄資材の主なもの	真柄倉庫	堀内倉庫
土嚢袋	27856袋	1800袋
木杭	17本	20本
綱杭	197本	99本
ブルーシート	173枚	50枚
むしろ	8枚	10枚
針金	2kg	30kg
なた	45本	2本
スコップ(角)(剣)	125本	25本
つるはし	16本	—
ハンマー	8本	2本
掛矢	7本	2本
ゴムボート	1隻	—
救急胴衣	17着	4着



東日本大震災支援活動報告

3月11日、東北地方太平洋沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生し、新庄河川事務所（以下、新庄河川）管内では、最大震度5強を観測しました。この地震により、東北地方をはじめとする各地に甚大な被害が生じましたが、新庄河川管内の河川・砂防施設、土砂流出、地すべり等の被害、異常はありませんでした。

東北地方整備局では、特に被害の大きかった岩手・宮城・福島県を中心に、震災直後から全整備局の支援を受け、国道や航路の啓開作業による交通網の確保、被災した河川堤防や海岸の緊急復旧など住民の安全確保のため、全力で取り組んできました。

新庄河川でも、排水ポンプ車や通信機器の貸与及び自治体の情報収集や調整のため、被災地へ職員を派遣しました。また、緊急物資の提供等も行ってきました。

排水ポンプ車を派遣

新庄河川では、津波により冠水した地域の排水のため、3月24日より宮城県石巻市・名取市・亶理町・山元町、福島県相馬市等へ排水ポンプ車4台と照明車2台を派遣し、排水作業を行いました。

排水作業は24時間体制で実施し、6月5日までの排水量は310万m³（東京ドーム約2.5杯分）に達し、復旧作業及び行方不明者の捜索に貢献しました。



排水作業状況



排水作業後、捜索状況

災害対策現地情報連絡員（リエゾン）を派遣

新庄河川では、発生翌日（3月12日）から宮城県石巻市へ災害対策現地情報連絡員（リエゾン）を派遣し、被害状況等の各種情報収集と関係機関との連絡調整を行ってまいりました。3月21日からは派遣先を女川町に変更し6月3日で終了となりました。95日間で延べ88名の職員を派遣しました。

今回の災害は、被災地自治体の庁舎や通信施設、さらに職員に大きな打撃をもたらしており、持参した衛星電話は被災地域の重要な通信手段となりました。

また、町の要望等を東北地方整備局に逐次連絡し調整を図り、仮設住宅の適地のアドバイス等、技術的な対応を行いました。



新庄河川事務所 鳥越出張所

〒996-0002 新庄市金沢字中村 1495-13
 (TEL)0233-22-6038 (FAX)0233-22-0083
<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>

ご感想や、河川に関するご意見や情報等ありましたらお気軽にお寄せ下さい！